

【高等学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀県立有田工業高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	・中学校時に不登校傾向だった生徒が多く在籍しており、また昨今のコロナ禍による生徒を取り巻く多様な環境の変化で、生徒の学力向上に向けた継続的な指導が難しい面があったが、教員の粘り強い指導の結果、出席状況や学力が好転した生徒もでてきた。今年度も引き続き、生徒を取り巻く学習環境や状況等の情報共有を職員間でしっかり行い、継続的な学習指導をしていきたい。心の教育については、集団の中で必要なスキルを体験的に身につけられるような学校行事（講話等）をはじめ、生徒個々人の実情に合わせた取組みや「生徒連絡会」をとおして、普段からの情報共有を綿密に行うことができた。アンケートの実施等による実態把握に努め、生徒の心の成長のための工夫をしていきたい。健康・体づくりにについては、「生活チェック表」を軸にした生活習慣の育成や食育、そしてコロナ禍における感染症対策などを継続的に行うことができた。今年度も生徒の健康づくりのために必要な行事の精選と効果的な運営に向けて取り組んでいきたい。業務改善・教職員の働き方改革の推進については、定時退勤日を中心とした業務改善の推進や教職員の意識付けに努めた結果、前年度よりも時間外勤務時間が減少した。会議などの時間短縮に向けた工夫や教職員間のコミュニケーション、報・連・相の徹底を行い、業務改善につなげることができた。今年度もさらなる業務改善に向けて取り組んでいきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	勉脩 「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立型人間の育成
----------	------------------------------

3 本年度の重点目標	① 出席率の向上と教育活動の改善 ② あいさつ、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ③ 進路保障に繋ぐ学力向上、資格取得、部活動 ④ 生徒、職員の心身の健康増進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○出席率の向上 ○基礎学力の向上と学習意欲の喚起	○出席率90%以上を目指す。 ○年内での進路決定100%達成を目指す。	・欠席が多い生徒の保護者と密に連絡を取り、改善に向けて家庭との連携を図る。 ・職員相互の授業見学と公開授業の実施 ・学習に関するアンケートを実施し、指導法の改善と学力の定着を図る。		・		・		・	教務 学年	
	○基礎学力向上を目指すことにより、進路保障へ繋いでいく。	◎就職率・進学率を100%にする。	・就業率を上げるための進路指導を行う中で過去問題やSPI対策の充実を図る。 ・基礎学力向上のため、国・数での小テストを行っていく。		・		・		・	進路	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートの「学校行事等への取り組み」をB判定以上を目指す。 ○1年間に心の成長を実感する生徒を100%とする。	・HR活動等を通して、寛容の精神や社会人としての当事者意識を養う指導を行う。 ・講話や講演会後の意識調査と感想文の記入を実施する。		・		・		・	保健 学年	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校評価・保護者アンケートにおいて、いじめに関する学校の取り組みの項目がB判定以上を目指す。	・生徒、保護者に向け年3回のアンケートを実施する。 ・日頃から生徒の状況を職員全体で共有し、生徒の変化があった場合には速やかに面談・情報共有・保護者連絡を行う。 ・週1回「心のチェック」を実施し、気になる生徒への早期対応を確実に行う。		・		・		・	生徒指導 保健	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康・体づくり」には規則正しい生活習慣が必要であることを理解できる生徒90%以上を目指す。 ●「健康に食事は大切である」と考える生徒98%以上を目指す。	・毎日の「生活チェック表」を記入することで、生徒自身が生活習慣を見直し、改善を心掛けるような意識付けをする。 ・喫食率が低い生徒への声掛けを積極的にを行い、給食室への入室を呼びかける。		・		・		・	保健	
	○生徒会活動と部活動を通じ社会性を身につけさせる。	○「部活動を通じ心身が健康になった」と考える生徒80%以上を目指す。	・各部活動において礼儀作法指導や他者と協力して成果を得る活動を行う。 ・協調性や達成感を得る主体的な生徒会活動を実践する。							生徒会	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・週1回の定時退勤日を設定し、時間外に勤務している職員への聞き取りを行う。 ・会議資料の事前配布により時間短縮を図る。 ・職員間の意思疎通と報告・連絡・相談を徹底し、互いに助け合う環境を整える。		・		・		・	管理職	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------